

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事例概要について】

.....

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリ
2. 体験した事例の名称	名阪国道上で発生した車両火災の消防活動障害
3. 体験した事例の中心的要素	火災現場が走行車線であり、走行、追越車線の交通量が多く消防隊の安全な現場到着、消火活動阻害になるもの
4. 体験した事例の原因・理由	名阪国道は、交通量の多い自動車専用道路のため事故等があれば、直ぐに渋滞し、又、消防車の出動途上及び現場到着時には、名阪高速警察隊の交通規制がまだ実施されていないケースが多い事から、有効な安全管理対策を講じる事が困難であるため

【体験した事例の直接的原因について】

.....

1. 体験した事例の直接的な原因	
------------------	--

【体験した事例について】

.....

1. 発生日時	平成 19 年 6 月 30 日 午後 2 時頃
2. 発生した当時の天候	曇
3. 発生した活動現場	屋外：自動車専用道路（名阪国道）
4. 体験した事例の種類	他人が、回答者を負傷させた。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	重傷の怪我をしていた（させていた）だろう。
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	交通事故、
7. 事例体験時の活動	火災、出動途上、現場活動初期、 [車両]
8. (7の活動中) どのような作業中に発生したか	ホース延長、部署・筒先配備、放水活動、
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	1年に数度程度の割合で体験している。

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

はい：交通規制等をする人的余裕がない。渋滞等で名阪高速隊の到着が遅れる。
